

## 15 武士団の成立・農業と経済

### 武士の荘園戦略

守護の権限、地頭の荘園侵略は中世の政治史・社会経済史のかなめである。

#### NO116 六波羅探題 2015 本

六波羅探題に関して述べた次の文 ad について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a 六波羅探題は、朝廷の監視や西国御家人の統括を担った。
- b 鎌倉幕府は、正中の変を機に六波羅探題を設置した。✖正中でなく承久
- c 宝治合戦で台頭した三浦氏は、六波羅探題の任につくようになった。  
→✖宝治合戦で三浦一族は滅亡した。
- d 御家人の足利高氏（尊氏）は、六波羅探題を攻め落とした。

- ① a・c    ② a・d    ③ b・c    ④ b・d

正解→②

#### NO117 執権政治の変質 2004 本

次の文を読み、問いに答えよ。

執権政治は、北条時頼が有力御家人の三浦泰村を滅ぼした【ア】以降、しだいに変質していった。そして、蒙古襲来を契機として、北条氏一族が全国各地の守護職の多くを手に入れたり、主要な都市や港湾の直轄化をはかったりするなど、得宗主導の政治が行われるようになった。この得宗専制の展開にともなって、御内人の発言力が増大し、御家人との対立を激化させ、ついには有力御家人の【イ】が滅ぼされる事件も引き起こされた。

問 空欄【ア】【イ】に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 宝治合戦 イ 和田義盛    ② ア 宝治合戦 イ 安達泰盛
- ③ ア 霜月騒動 イ 和田義盛    ④ ア 霜月騒動 イ 安達泰盛

正解→②

#### NO118 鎌倉時代の地頭 2009 本

鎌倉時代の地頭について述べた文として正しいものを、次の1～4のうちから一つ選べ。

- 1. 地頭は全国の公領のみに置かれた。✖平家没官領を中心とする謀反人の所領
- 2. 地頭の権限は、大犯三ヵ条とよばれた。✖守護の権限
- 3. 地頭の収益を保障するため、頼朝は新補率法を定めた。頼朝でなく北条義時
- 4. 地頭は、年貢徴収・納入や土地管理・治安維持に当たった。

正解→4

#### NO119 武士の荘園戦略 2009 本 正誤問題

武士と荘園領主に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 地頭の所領は東国に限定されていたため、地頭と荘園領主の紛争が西国の荘園で起こることとはなかった。

Pain is inevitable Suffering is optional

- ② 地頭と荘園領主の紛争を解決するために、荘園の土地を分割する下地中分が行われることもあった。
  - ③ 荘園領主のなかには、地頭請けによって一定額の収入を確保しようとするものもいた。
  - ④ 百姓が地頭の非法を訴えた文書を、荘園領主に提出することもあった。
- 正解→①東国に限定されない。

#### NO120 中世の荘園 平 13 本

耕地を名に編成して公事や年貢の賦課単位とし、名主が納税の責任を負う方式について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 水はけの悪い湿田は佃と呼ばれ、その多くは弱小農民の自作地であった。
- ② 加徴米とは、公領に賦課された税の総称である。
- ③ 鎌倉時代には、荘園領主への年貢を、現物の代わりに貨幣で納める銭納も行われた。
- ④ 名主のほとんどは、南北朝の動乱にまきこまれて没落した。

正解→佃は荘園領主や荘官・地頭が直接経営する田畑、土地の特徴ではない。②加徴米とは、公領に賦課された税以外の付加米。名主の中には地侍になるもの、小作人・下人から名主の上昇する者もあった。正解は③

#### NO121 御成敗式目 2009 本

御成敗式目に関連して、この法令が定められた理由に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- Aa 田畑の等級・面積を調査し、年貢収入を確保するために定められた。✖秀吉の太閤検地
- Bb 御家人同士や御家人と荘園領主などとの紛争解決のために定められた。○
- Cc 守護・地頭の任務・権限を規定するために定められた。○
- Dd 御家人所領の売買を禁止し、売却地を無償で取り戻させるために定められた。  
→✖永仁の徳政令

- ① a・c    ② a・d    ③ b・c    ④ b・d

正解→③

#### NO122 鎌倉時代の武士 2010 本

鎌倉時代の武士に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 鎌倉時代の武士は、城下町への集住が義務付けられていた。✖農村に館を構えた
- ② 鎌倉時代を通じて、武士の所領は、嫡子単独相続を原則としていた。✖分割から単独
- ③ 鎌倉時代の武家社会における一族の結合体制を、寄親・寄子制とよんでいる。✖
- ④ 鎌倉時代の武士の間では、流鏑馬・犬追物などの武芸の鍛錬がさかんにおこなわれた。

正解→④

#### NO123 鎌倉時代の武士 2016 本試 正誤

次の甲・乙に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。



センター日本史ファイナル

- X 甲には、防衛施設を備えた武士の館が描かれている。
- Y 乙には、火薬を利用した武器を使う元軍と、日本の武士との戦闘が描かれている。

- ① X 正 Y 正    ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正    ④ X 誤 Y 誤

正解→①

NO124 地頭の悪政 2003-本

地頭の悪政について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 弾正台は、地頭の悪政を取り締まるため、朝廷が設置したものである。
- ② 尾張国郡司百姓等解(文)は、地頭の悪政を列挙して、その罷免を求めたものである。
- ③ 二条河原落書は、地頭の悪政を鎌倉幕府に訴えたものである。
- ④ 紀伊国阿氏河荘民の訴状は、地頭の悪政を荘園領主に訴えたものである。

正解⇒④「阿テ河ノ上村百姓ラツ、シテ言上・・ランサイモク(御材木)ノコト。アルイワチトウ(地頭)ノキヤウシヤウ(京上)、アルイワチカフ(近夫)トマウシ(申し)、・・・」  
 これで、阿テ河荘民の訴状であり、鎌倉時代の地頭のことを記したものだとか分れば可。強いて言えば「なげチトウ(地頭)はキヤウシヤウ(京上)するのか」という問題があった。もちろん、京都大番役を勤めるためである。なお、これは紀伊国の阿テ河荘民が地頭の湯浅氏の非法を荘園領主の高野山へ訴えたものである。

三入試の極意 鎌倉と室町の比較で学ぶ経済と社会

- 鎌倉 室町
- ☆ 農業… 二毛作 開始(畿内・西国) 裏作は 麦 ⇔ 三毛作 開始、二毛作普及。  
裏作⇒麦、そば
- 商品作物栽培… 【楮】(和紙) 【荏胡麻】(灯油) 【藍】(染料)
- 牛馬耕の進展(←『松崎天神縁起絵巻』)
- ☆ 肥料… 刈敷、草木灰 ⇒ 刈敷、草木灰、下肥
- ☆ 定期市… 三斎市(月3回) ⇔ 六斎市(応仁の乱後)

- ※ 備前国福岡市(岡山県) (←『一遍上人絵伝』) は絶対!
- ☆ 常設店… 見世棚 登場 ⇒ 見世棚増加
- ☆ 交通要地… 問丸 = 貸倉庫、委託販売 ⇔ 問屋 = 卸売
- ☆ 陸上運送 ⇒ 馬借、車借
- (近江坂本の馬借一揆→正長の土一揆)
- ☆ 金融業者… 借上 ⇔ 土倉、酒屋
- (高利貸し)
- ☆ 貨幣… 宋銭 ⇔ 明銭(永樂通宝)
- ☆ 遠隔地の決済… 為替 ⇒ 為替普及

惣領制と分割相続

御家人は武士の一門・一家の長である惣領を中心に、庶子(嫡子以外の子)が率いられていた。これを惣領制という。惣領は、先祖の氏神祭祀・番役貢納の割り当て、貢納の一括納入などを行いながら、一族の長として幕府と主従関係を結んだ。鎌倉時代の相続法は、この惣領を中心にした庶子にも財産を相続させる分割相続が一般的であったが、鎌倉末期になると分割相続による所領の細分化で武士の窮乏化が進んだため、単独相続が行われるようになった。

Pain is inevitable Suffering is optional

惣領制 正誤問題

- 惣領は、一族内の家ごとに、長男がなるのが通常であった。
  - 鎌倉時代の庶子は、惣領の指揮にしたがって幕府の御家人役を勤めた。
- 家は嫡子である【惣領】によって指揮・統率され、惣領は兄弟や庶子をまとめ、一族や周辺の武士団と婚姻関係でつながりを保ち、勢力の維持・拡大を図った。

武士の生活 リカバリーシート

【館】をかまえ、周囲には堀や溝を張り巡らす  
 年貢・公事のかからない直営地を持つ⇒【佃】【門田】

